

# 横浜市東部方面斎場 (仮称)の整備について

日 時 令和5年1月27日(金) 18時30分～  
令和5年1月28日(土) 14時00分～  
場 所 生麦地区センター

横浜市 健康福祉局 環境施設課

# 目 次

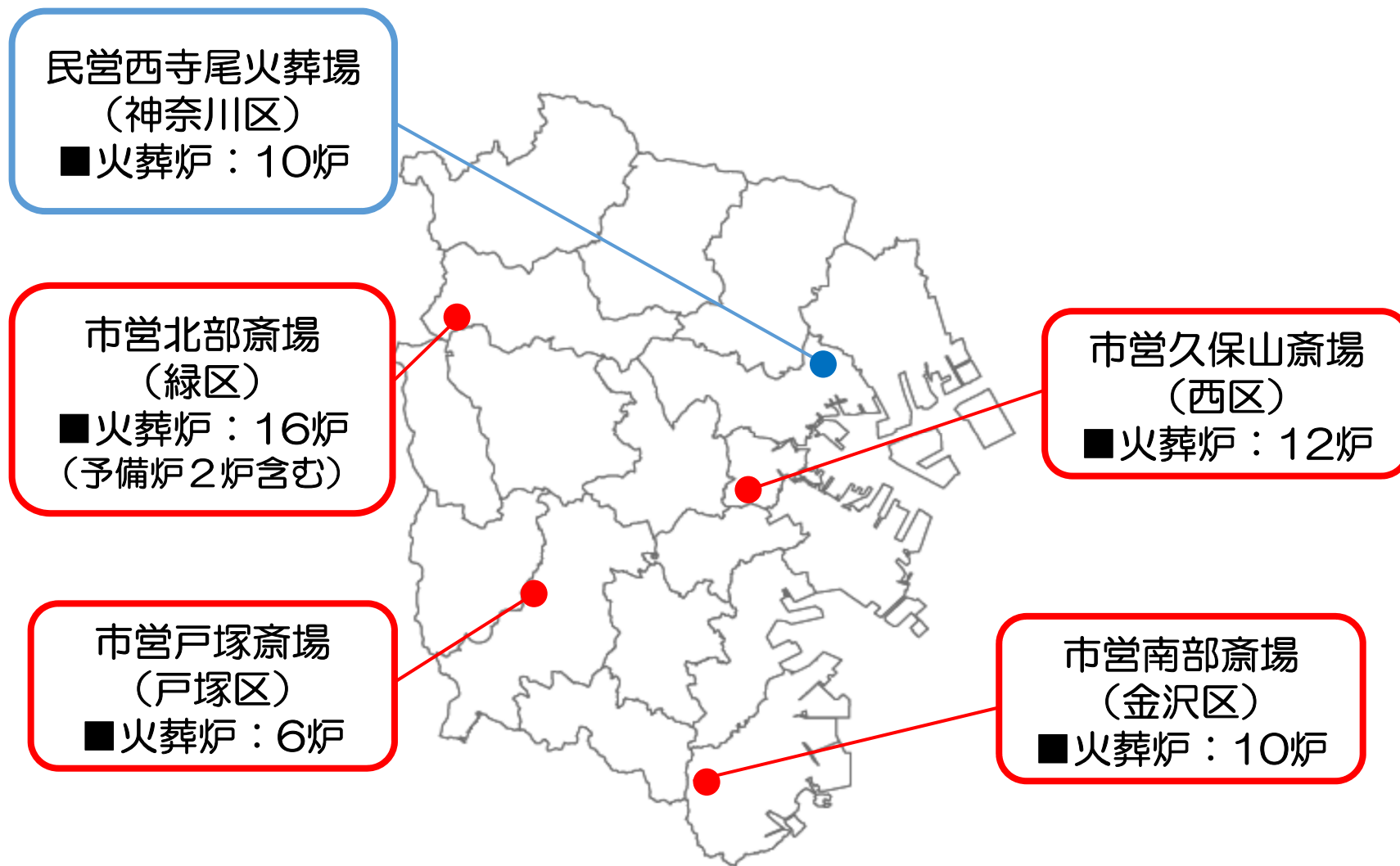
- I 横浜市の現状
- II 建物の設計
- III 今後のスケジュール

# 目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計
- III 今後のスケジュール

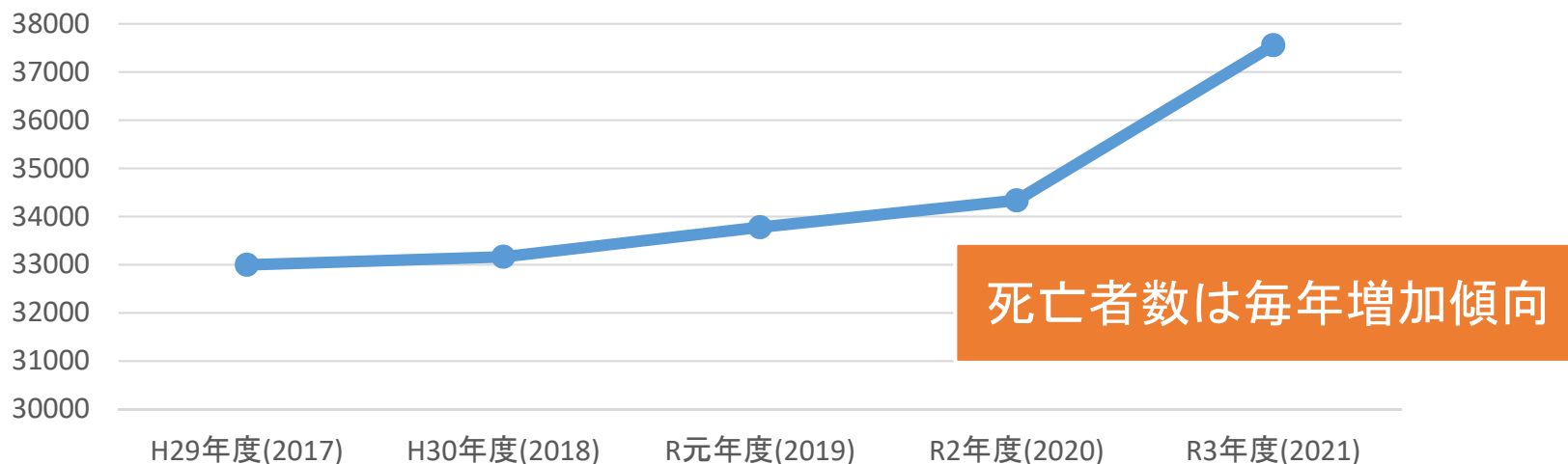
# I 横浜市の現状

## 市内斎場の配置図(現在)



# I 横浜市の現状

## 最近5か年の市内死亡者数



|      | 平成29年度<br>(2017) | 平成30年度<br>(2018) | 令和元年度<br>(2019) | 令和2年度<br>(2020) | 令和3年度<br>(2021) |
|------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 死亡者数 | 32,998人          | 33,164人          | 33,778人         | 34,337人         | 37,555人         |
| 前年比  | +915人            | +166人            | +614人           | +559人           | +3,218人         |

# I 横浜市の現状

## 市内斎場の火葬実績

(単位:件)

| 年度               | 市営斎場   |   | 久保山斎場 | 南部斎場  | 北部斎場   | 戸塚斎場  | 民営         | 合計     |
|------------------|--------|---|-------|-------|--------|-------|------------|--------|
|                  | 合      | 計 |       |       |        |       | 西寺尾<br>火葬場 |        |
| 平成29年度<br>(2017) | 30,258 |   | 9,183 | 6,493 | 9,677  | 4,905 | 2,558      | 32,816 |
| 平成30年度<br>(2018) | 30,806 |   | 9,314 | 6,597 | 10,198 | 4,697 | 2,408      | 33,214 |
| 令和元年度<br>(2019)  | 31,471 |   | 9,798 | 6,300 | 10,408 | 4,965 | 2,355      | 33,826 |
| 令和2年度<br>(2020)  | 31,095 |   | 8,675 | 7,666 | 10,643 | 4,111 | 2,402      | 33,497 |
| 令和3年度<br>(2021)  | 32,868 |   | 8,226 | 8,216 | 12,307 | 4,119 | 2,467      | 35,335 |

近年、増加傾向

## 市営斎場の火葬待ち日数

|           | 平成29年度<br>(2017) | 平成30年度<br>(2018) | 令和元年度<br>(2019) | 令和2年度<br>(2020) | 令和3年度<br>(2021) |
|-----------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 4斎場<br>平均 | 4.28日            | 4.46日            | 4.49日           | 4.56日           | 5.49日           |

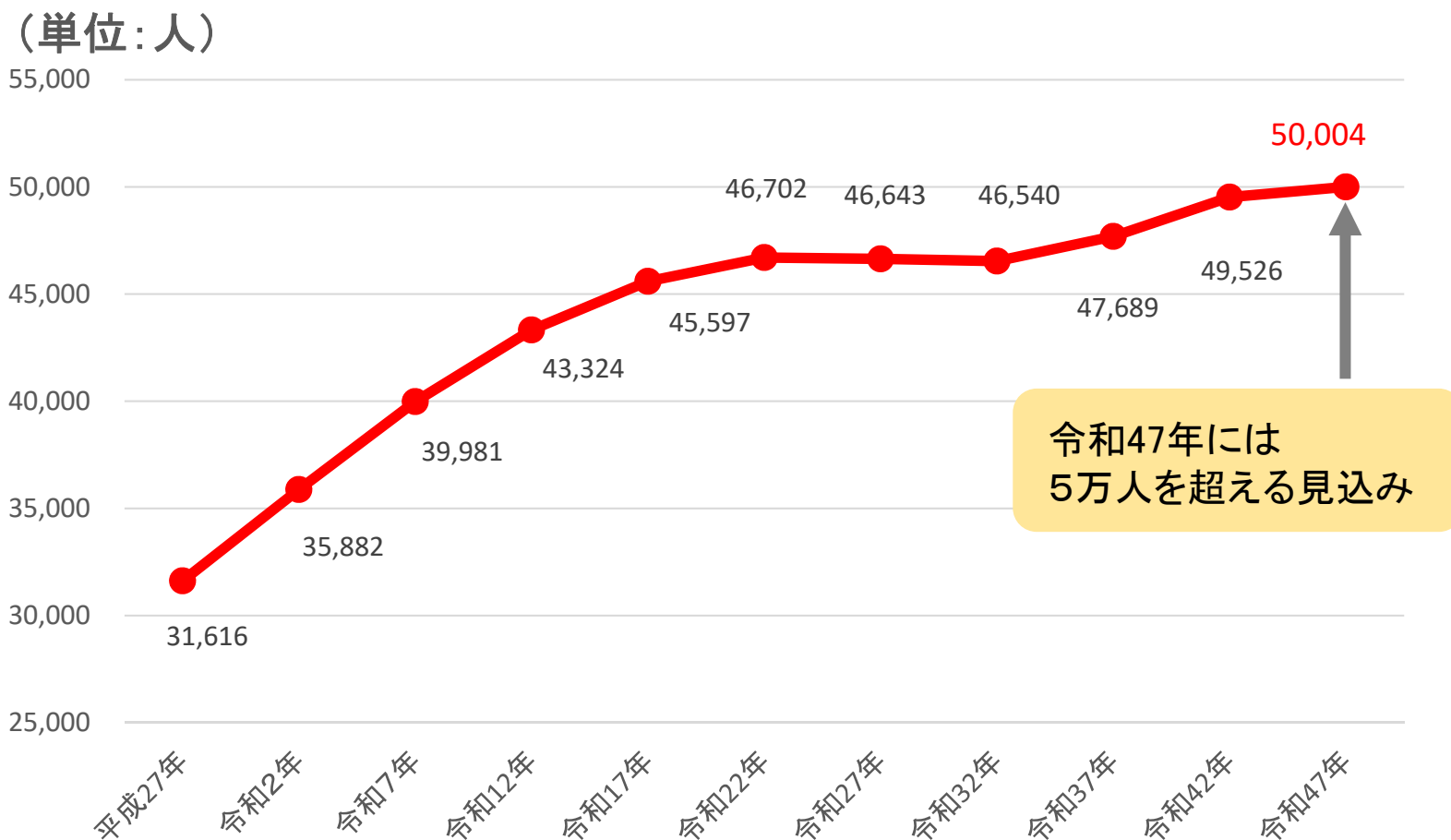
火葬待ち日数は年々長期化

※ 日数の計算方法

(法律の規定により死亡後24時間以内は火葬ができないため、死亡日の翌日から起算)

# I 横浜市の現状

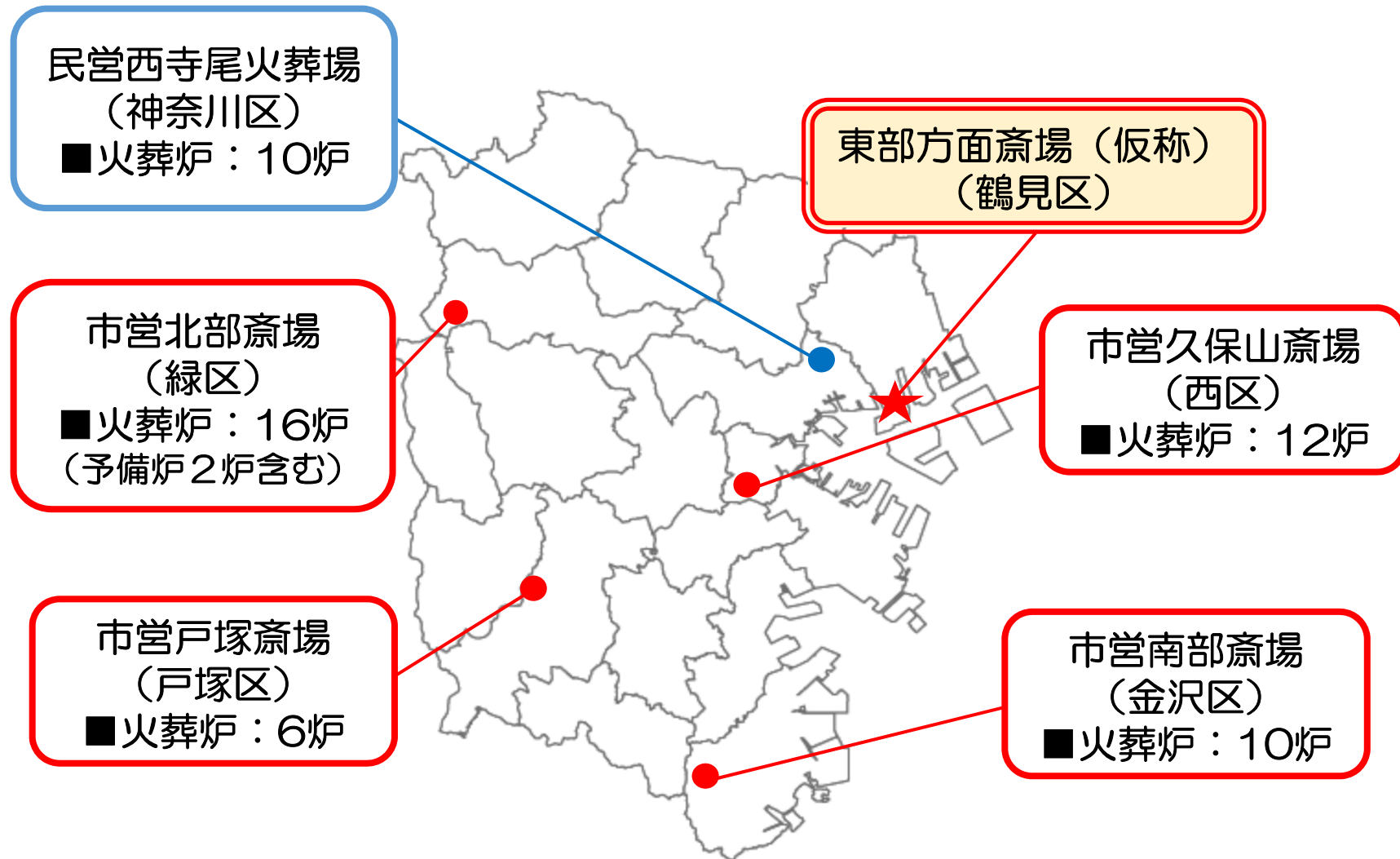
## 横浜市の死亡者数推計



※平成27年国勢調査(平成27年10月1日時点)の人口を基準とした推計



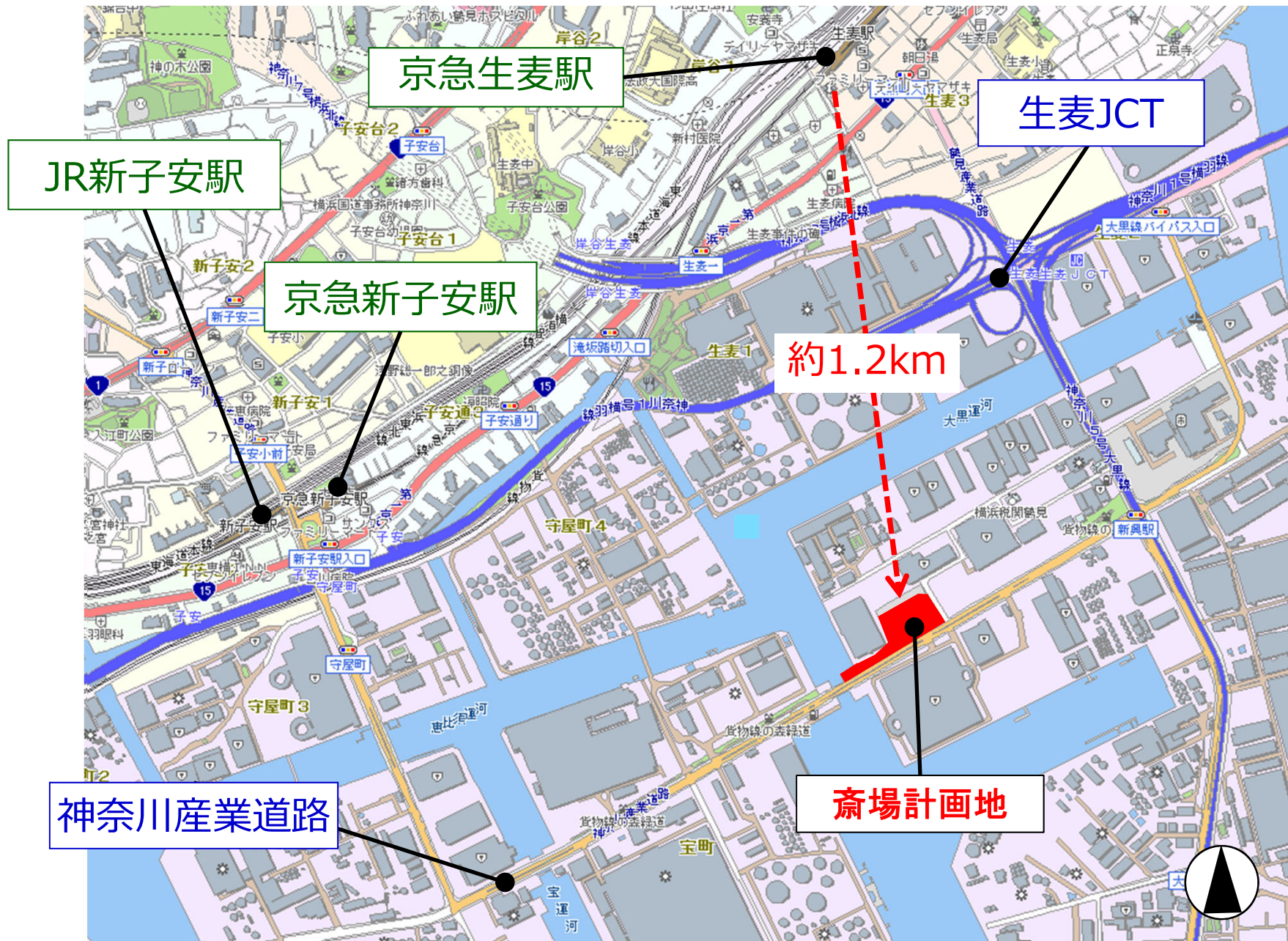
## 市内斎場の配置図(計画)



# 目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計
- III 今後のスケジュール

# Ⅱ-1 計画地



## Ⅱ-2 整備概要

|            |                        |      |          |
|------------|------------------------|------|----------|
| 所在地        | 鶴見区大黒町18-18ほか          | 敷地面積 | 約11,000㎡ |
| 用途地域       | 工業専用地域                 | 延床面積 | 約22,000㎡ |
| 建蔽率<br>容積率 | 60% (緩和により70%)<br>200% | 整備費  | 約221億円   |

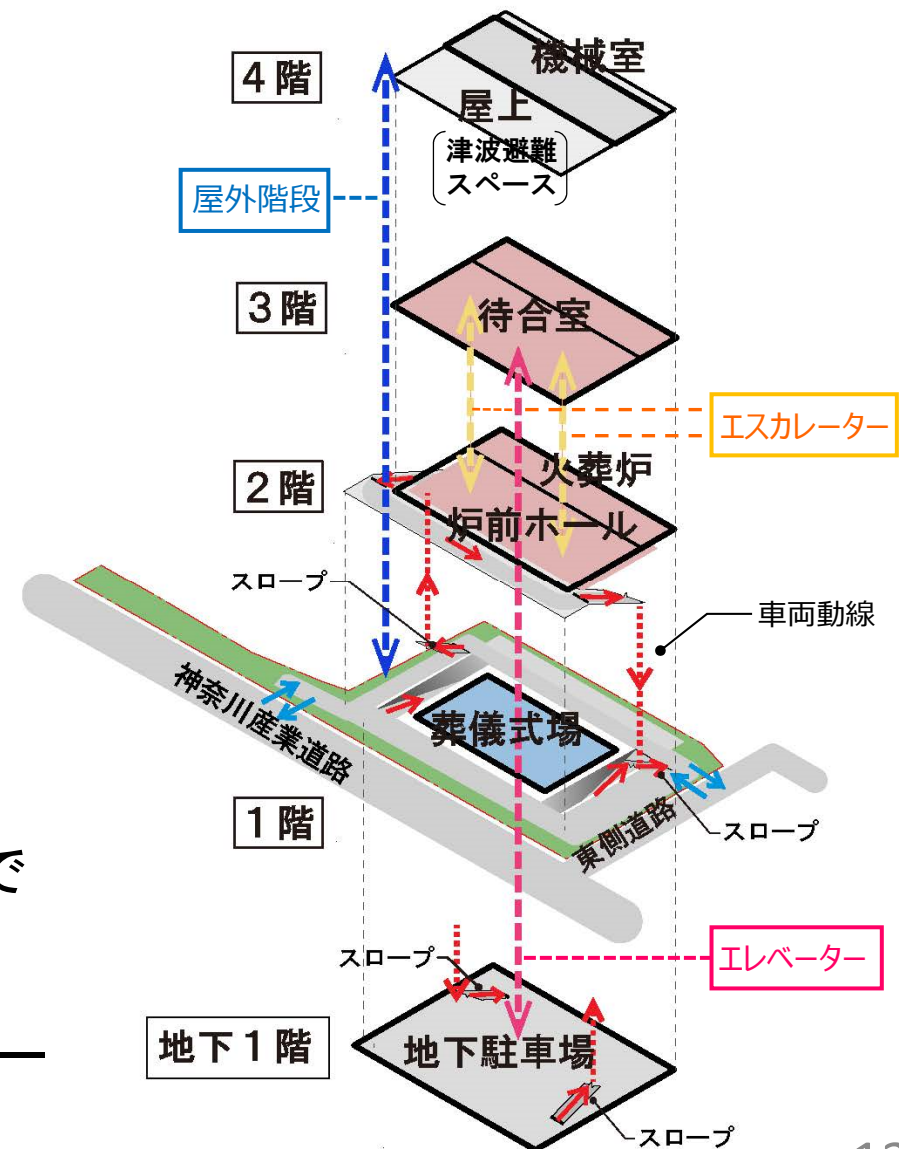


## Ⅱ-3 建物構成



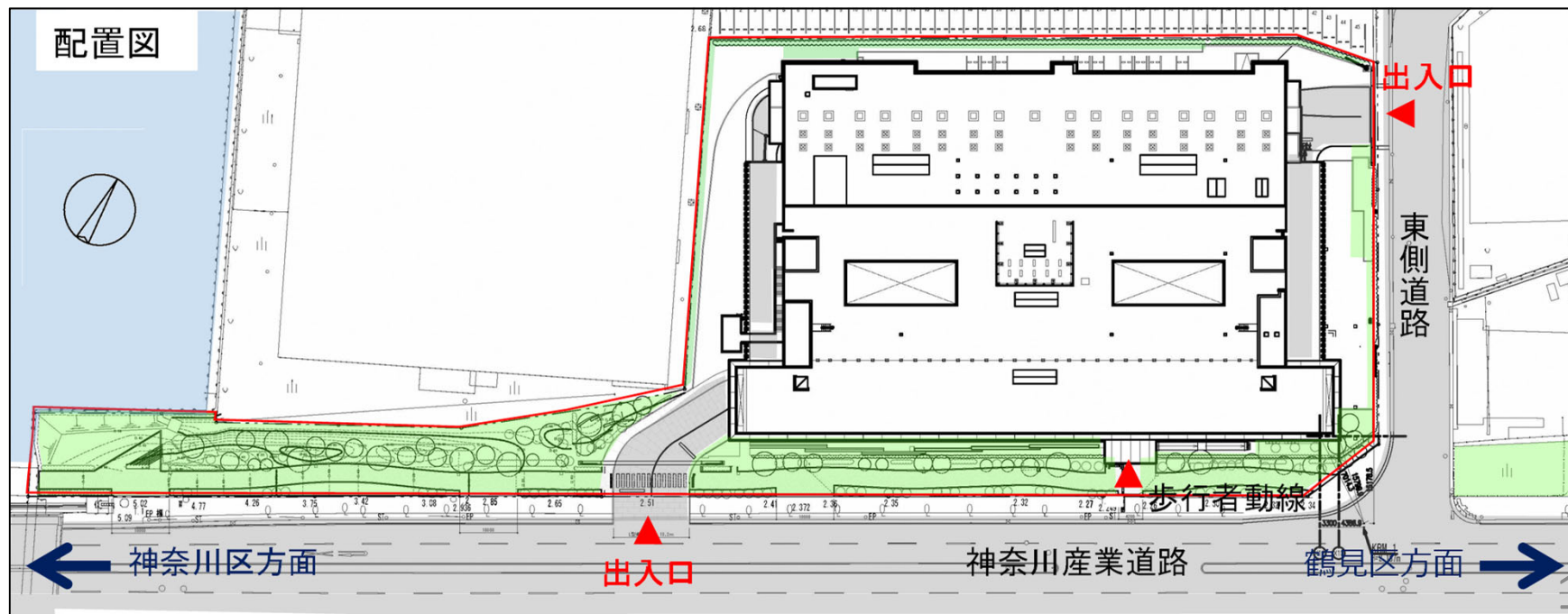
### 【各階へのアクセス】

- ・車両は、スロープで地下1階の駐車場や2階の車寄せにアクセスします。
- ・斎場利用者は、地下1階から3階までエレベーターで上下します。
- ・2階から3階の移動は、エスカレーターも利用できます。



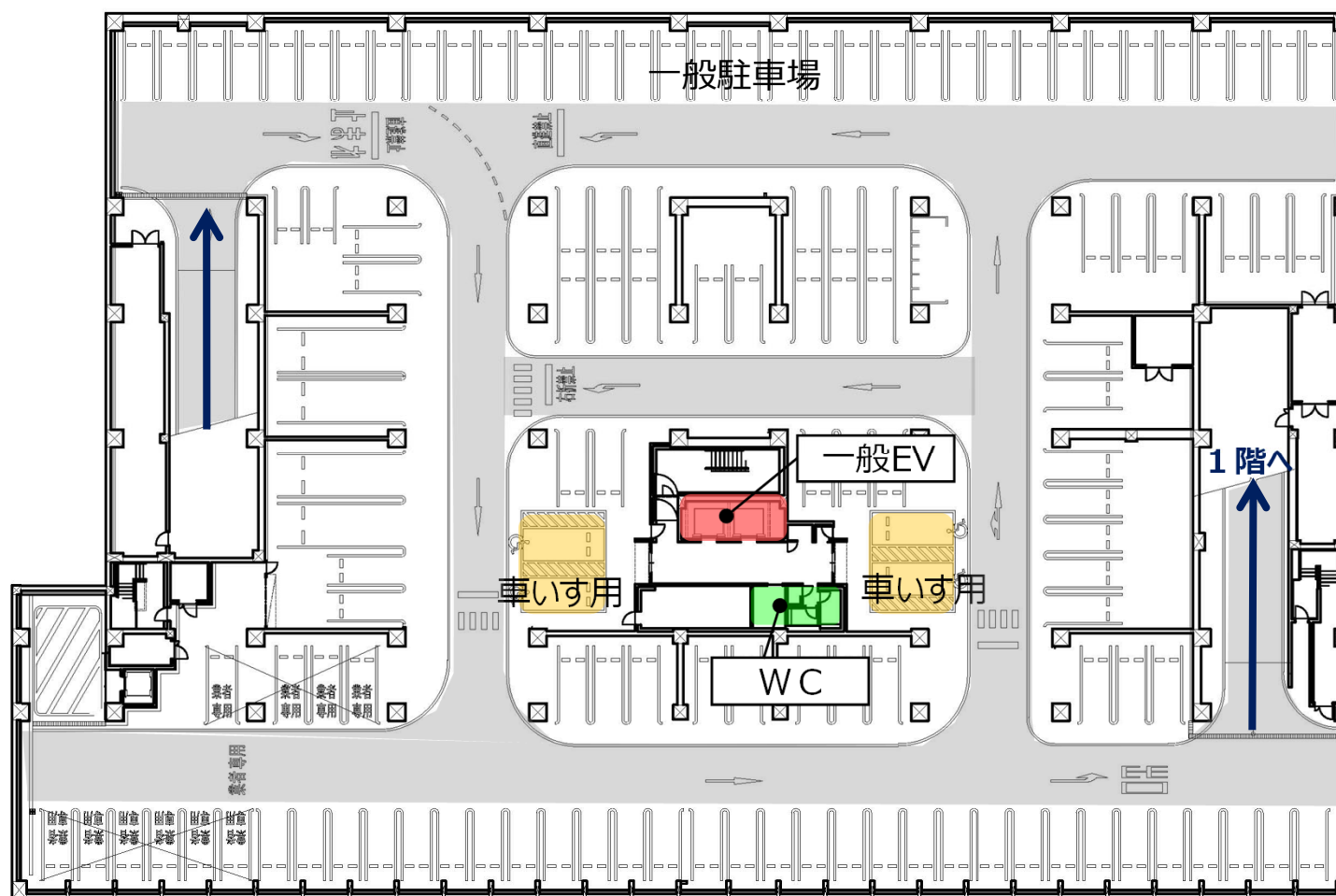
## Ⅱ-4 配置計画

- ・車両の出入口は南側の神奈川産業道路及び東側の市道に1か所ずつ設けます。
- ・神奈川産業道路の沿道には、斎場計画地から既存公園(貨物線の森緑道)まで連続性を考慮した緑地を整備し、歩行者の出入口を設けます。



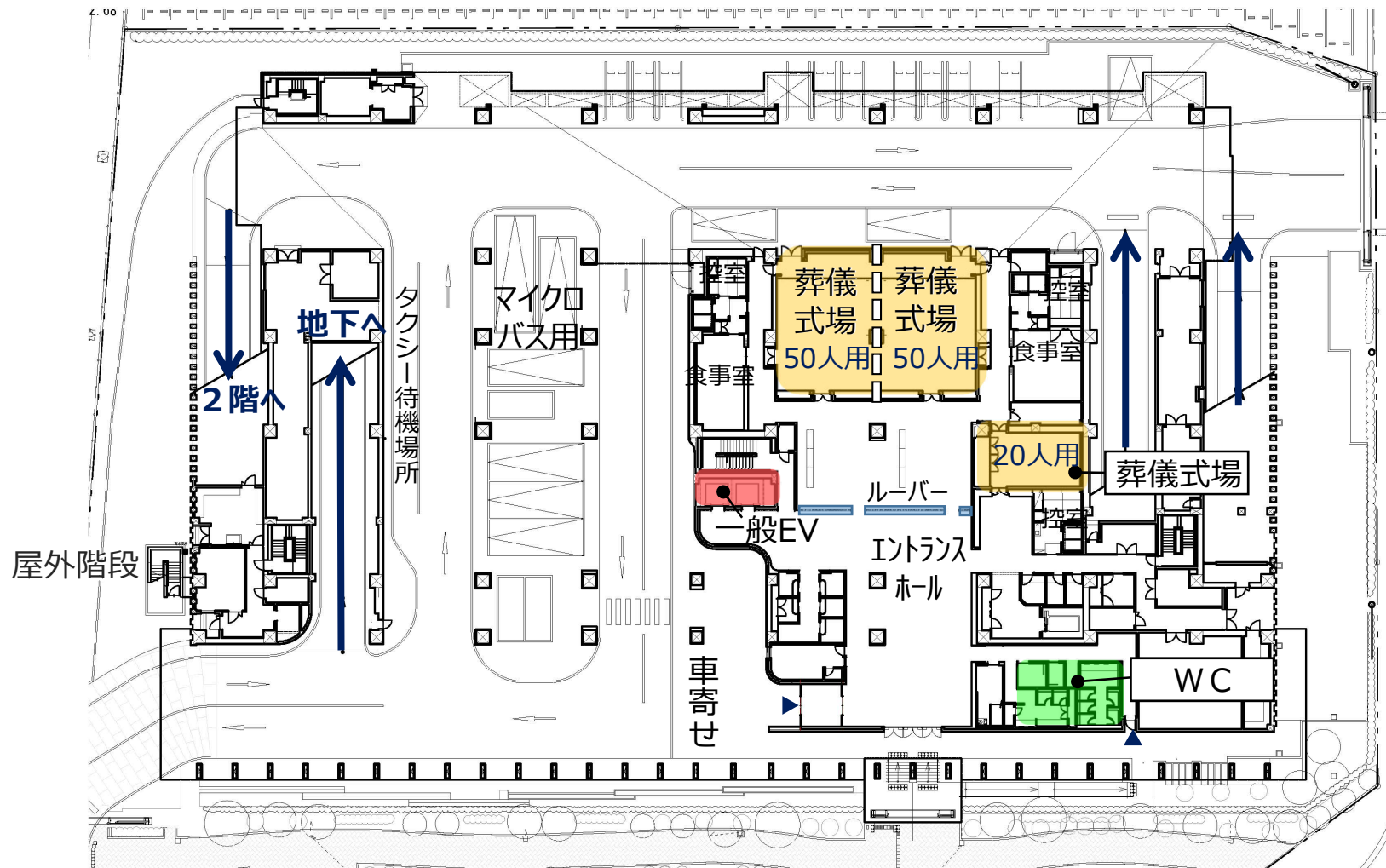
## Ⅱ-5 地下1階平面図

- ・ 地下1階は駐車場とし、1階と併せて150台設けます。  
車いす用駐車場を4台設置します。
- ・ 中央部に3階まで連絡する24人乗り大型エレベーターを2機設けます。



## Ⅱ-5 1階平面図

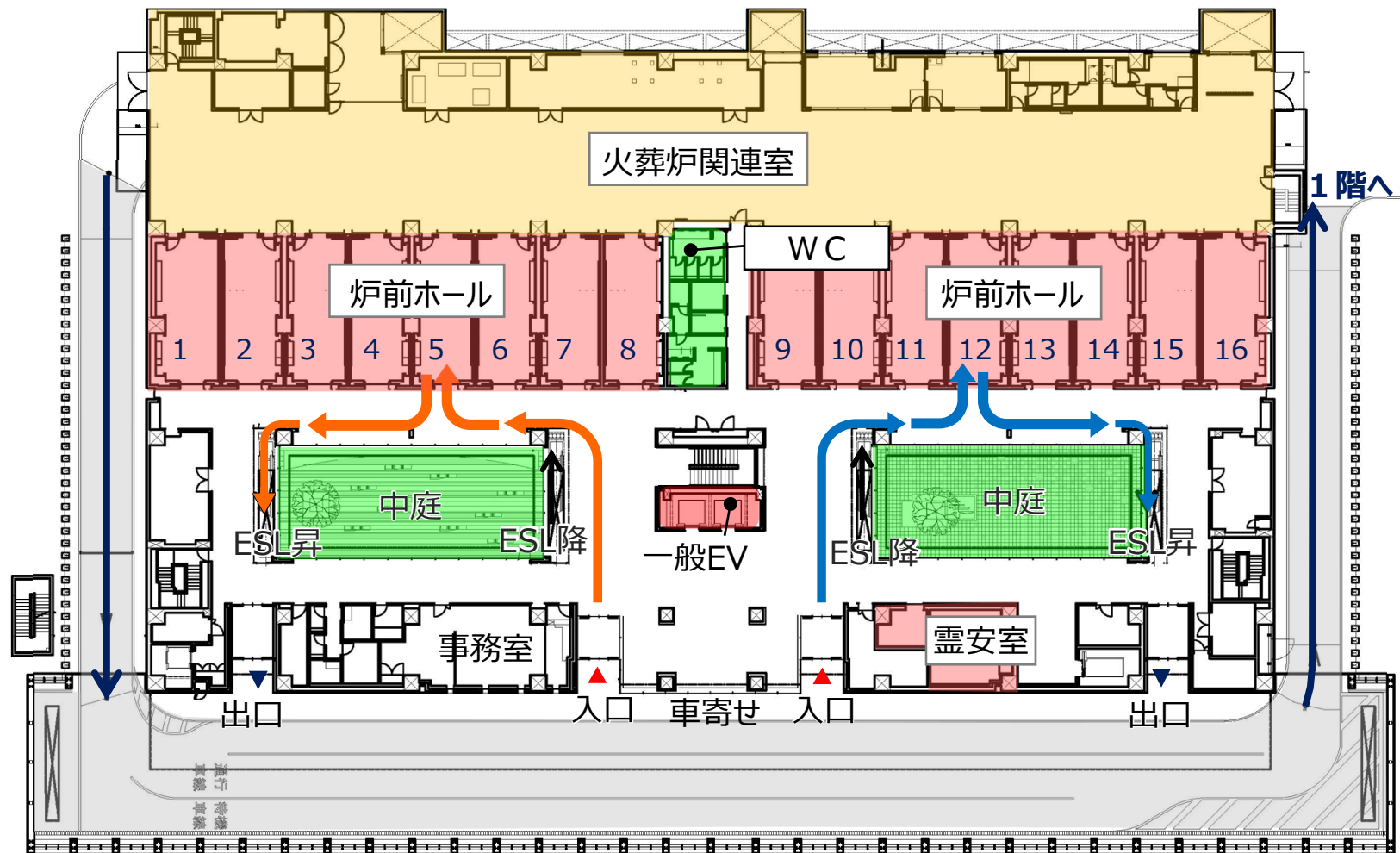
- ・ 1階は主に、通夜・告別式等を行うフロアです。
- ・ 葬儀式場は約50人用を2室と、葬儀の小規模化傾向を踏まえ約20人用を1室設けます。





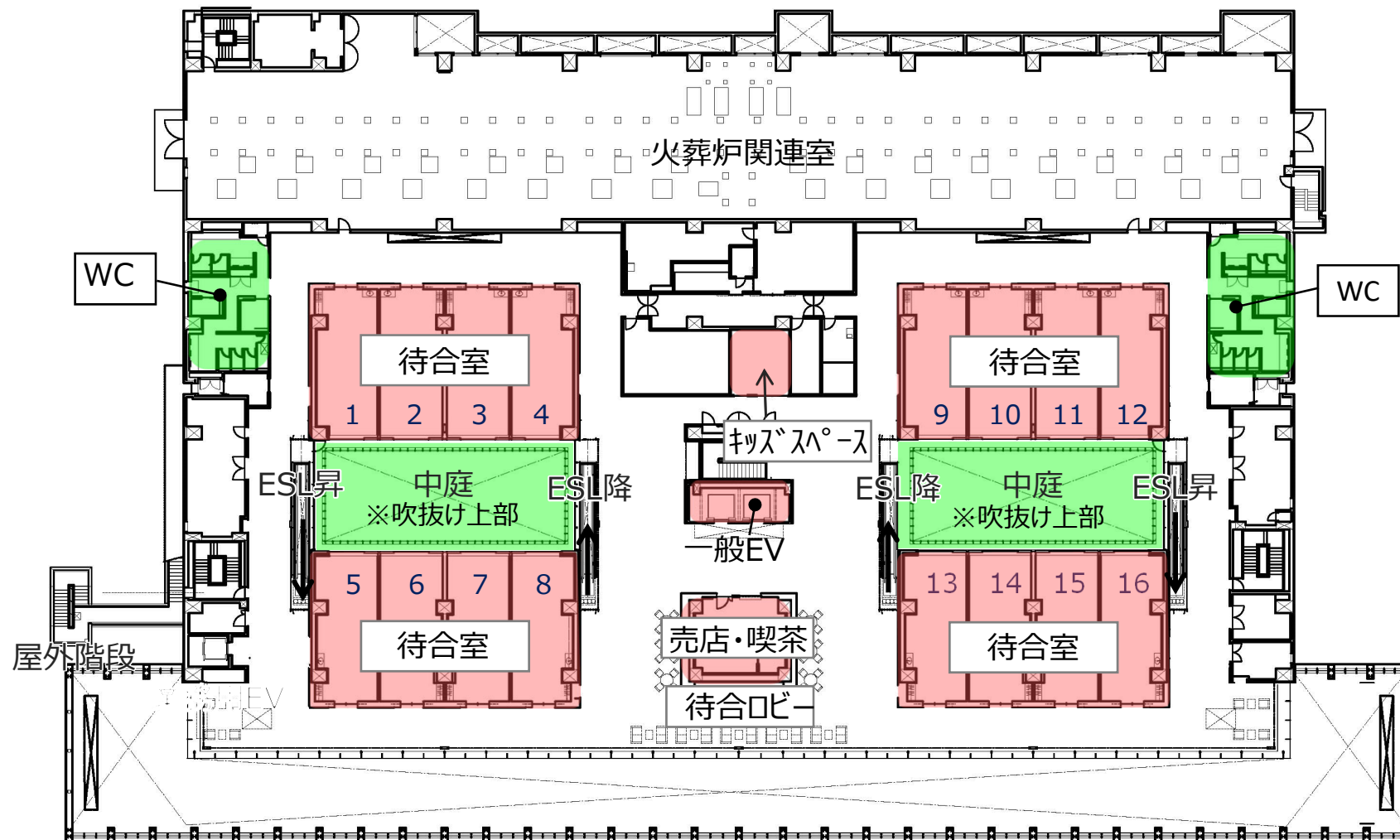
## Ⅱ-5 2階平面図

- ・ 2階は火葬を行うフロアとして、火葬炉16炉を北側部分に配置し、火葬炉1炉に対して炉前ホールを1室整備します。
- ・ 斎場利用者の動線は左右、一方向に流れるようにし、混雑緩和を図ります。
- ・ 霊安室は、ご遺体を10体お預かりし、面会室も設けます。



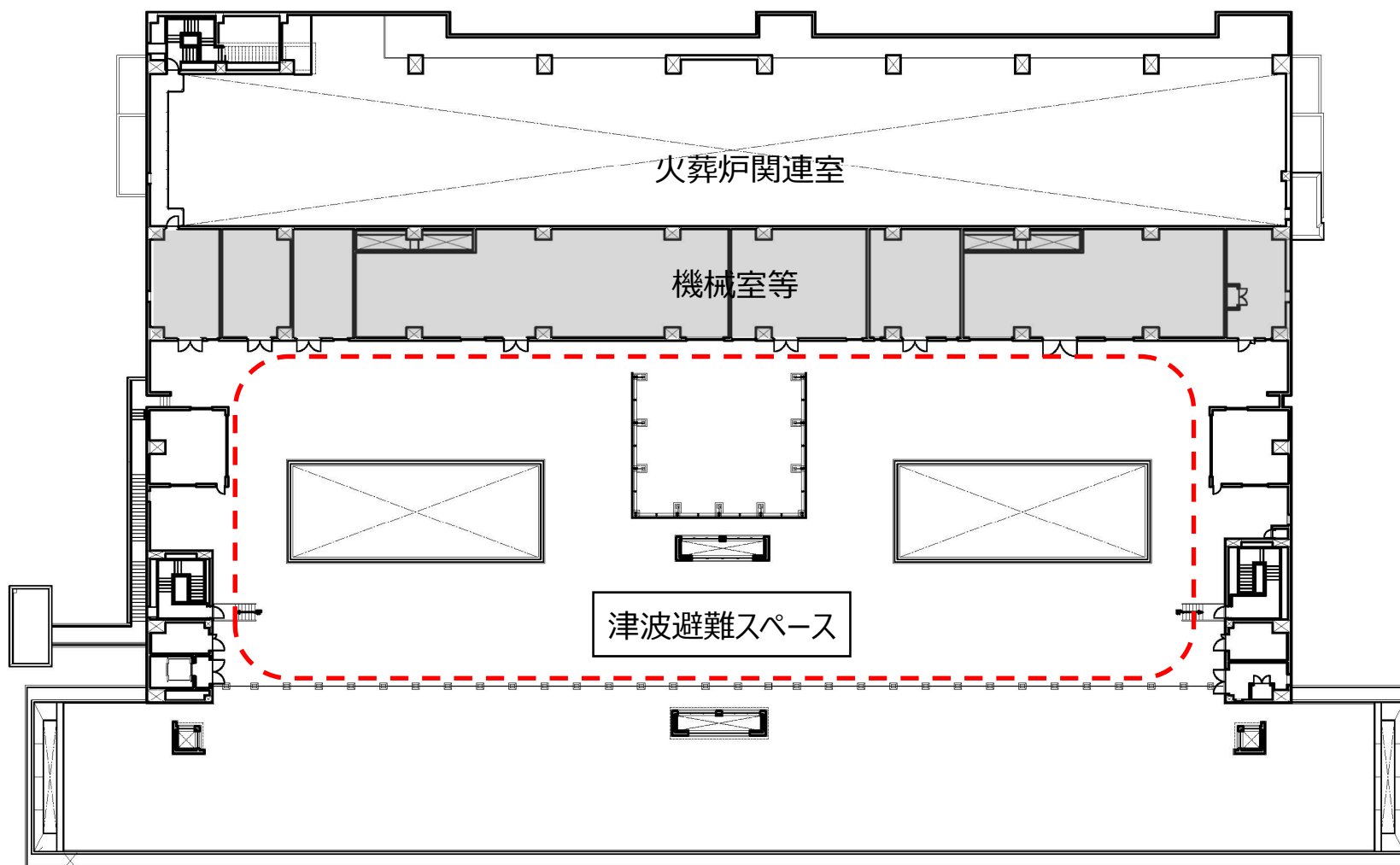
## Ⅱ-5 3階平面図

- ・ 3階は火葬の間、ご遺族や会葬者の方にお待ちいただくフロアです。
- ・ 待合室(40人用)を中庭に面し、火葬炉と同数の16室配置します。
- ・ 中央部分に待合ロビーや売店・喫茶機能のほか、キッズスペースを設けます。



## Ⅱ-5 4階平面図

- 4階は北側に機械室等を配置し、南側には津波発生時の避難スペースを確保します。

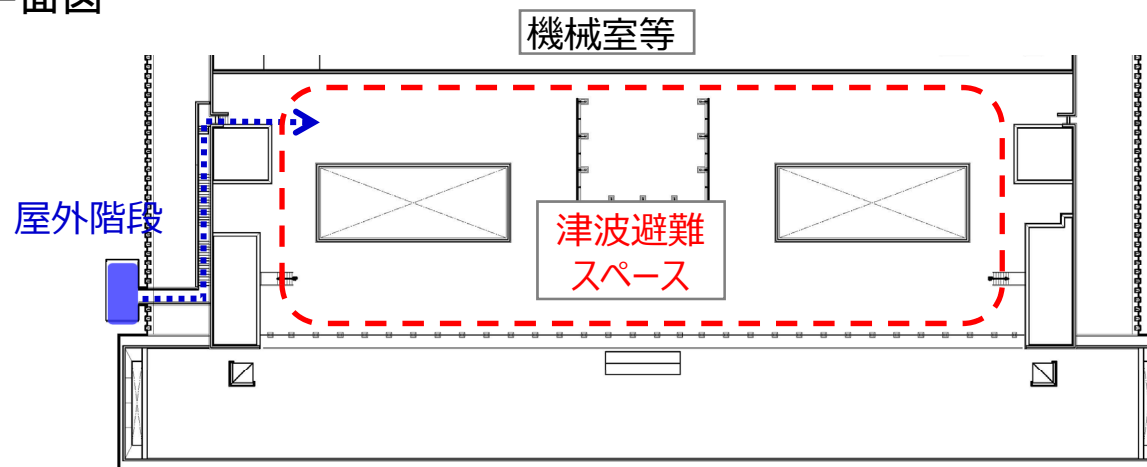


## Ⅱ－6 災害対策

計画地は臨海部に位置するため、高潮（被害想定：0.5m～1m）や津波（被害想定：1m～2m）による浸水被害が想定されています。

- ・ 1階床レベルを既存地盤から約1m高くするとともに、火葬炉や受変電設備等の重要機器は津波による浸水深以上に設置します。
- ・ 都市ガスや電力等のインフラが途絶した場合に備え、非常用発電機等の対策を計画しています。
- ・ 津波発生時には、斎場利用者のほか計画地周辺の方々の一時的な避難施設として活用できるよう、屋上に避難スペースを確保し、斎場外部からアクセス可能な屋外階段を設けます。

4階平面図

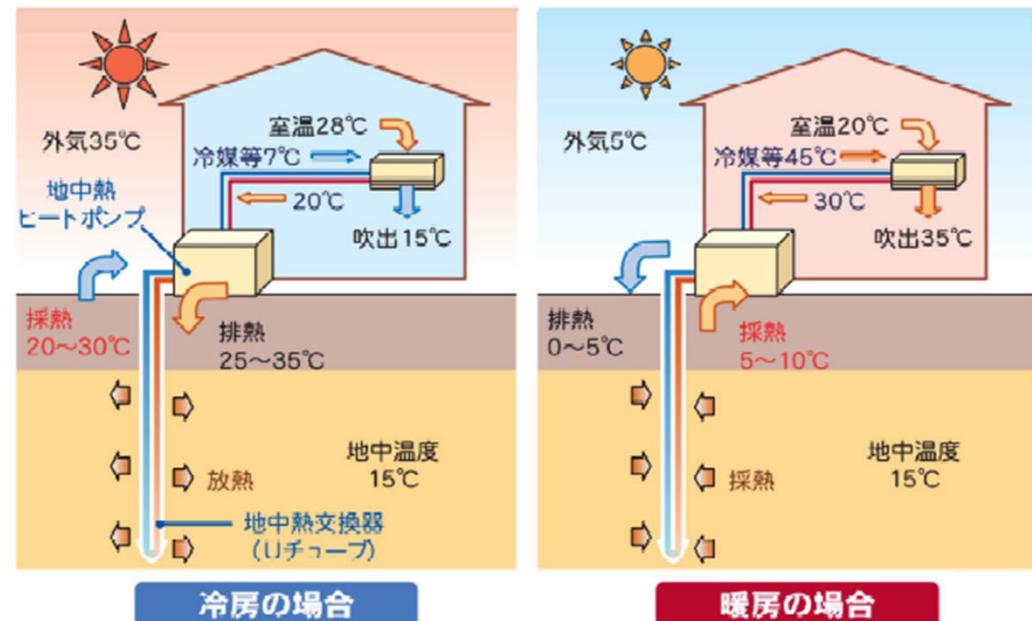


## Ⅱ-7 環境配慮

- ・ 建築物の省エネ性能を高めるため、高効率型の機器を採用するほか、太陽光発電や地中熱等の再生可能エネルギー利用を導入し、環境への負荷低減を図ります。



■ 横浜市役所の太陽光パネル  
出典：横浜市新市庁舎紹介 パンフレット



■ 地中熱利用イメージ  
出典：環境省 [2021年3月]  
地中熱利用システム パンフレット

## Ⅱ-7 環境配慮

- ・木質化に取り組むとともに、既存公園と連続した緑地を整備し、生物多様性の保全に配慮します。



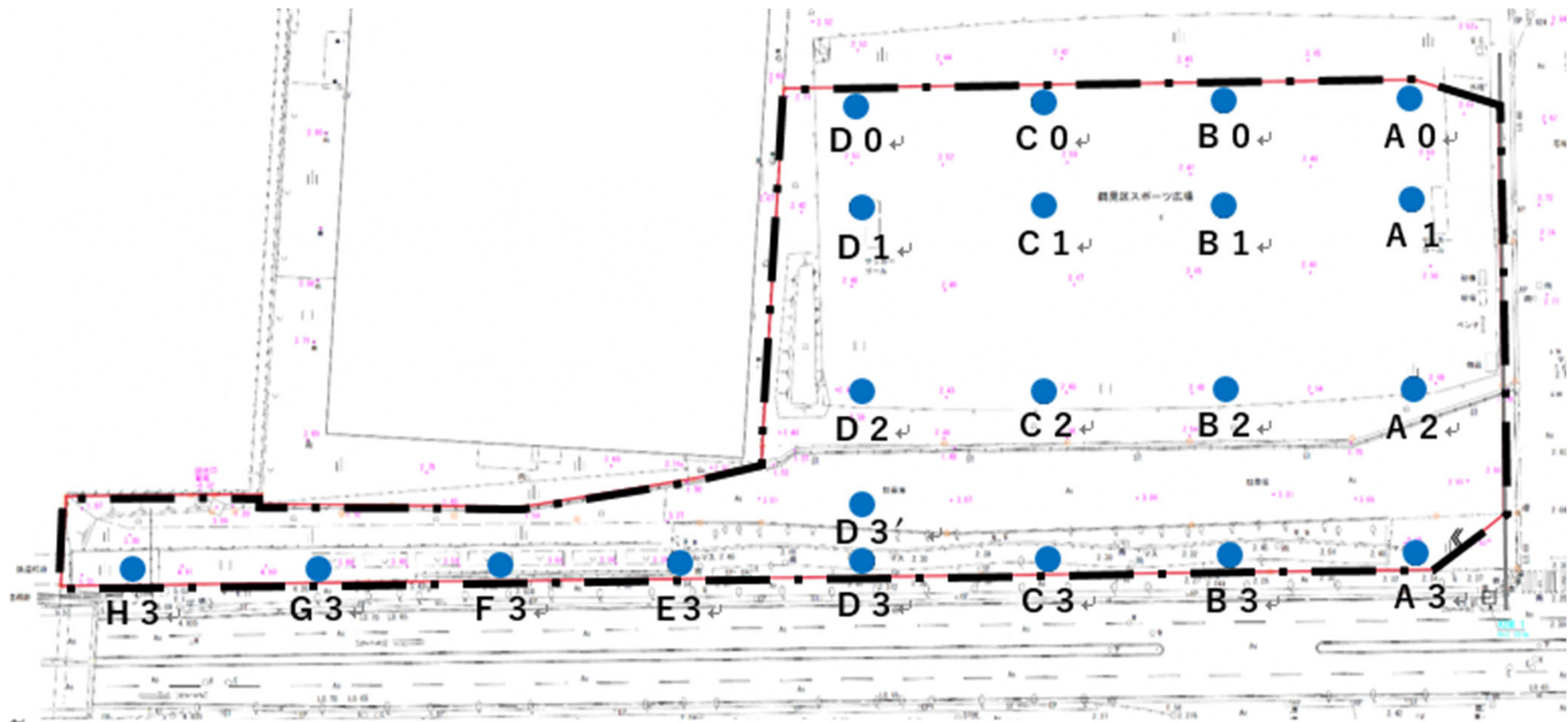
■南区総合庁舎の木質化  
出典：神奈川県ホームページ  
木造公共施設整備事業の事例



■緑地の整備イメージ  
撮影場所：貨物線の森緑道

## Ⅱ－８ 土壤汚染調査

- ・令和5年度の建設工事着工に向け、今年度、斎場用地の土壤汚染調査を実施しました。
- ・調査は、用地を30m格子状の区画に分けて21地点で合計128の土壤試料を採取し、特定有害物質を測定しました。



□：土壤汚染状況調査の対象地 ●：試料採取地点

## Ⅱ－８ 土壤汚染調査

### 調査結果(抜粋)

| 調査項目 | 土壤溶出量基準<br>(mg/L) | 調査結果<br>(mg/L) | 土壤含有量基準<br>(mg/kg) | 調査結果<br>(mg/kg) |
|------|-------------------|----------------|--------------------|-----------------|
| 鉛    | 0.01以下            | 0.017          | 150以下              | 240             |
| 砒素   | 0.01以下            | 0.074          | 150以下              | 13              |
| ふっ素  | 0.8以下             | 1.3            | 4,000以下            | 150             |

- ※ 調査結果欄の数値は検出された値のうち、最大値を記載しています。
- ※ 黄色網掛け部分が基準値を超過しています。

#### 【参考】

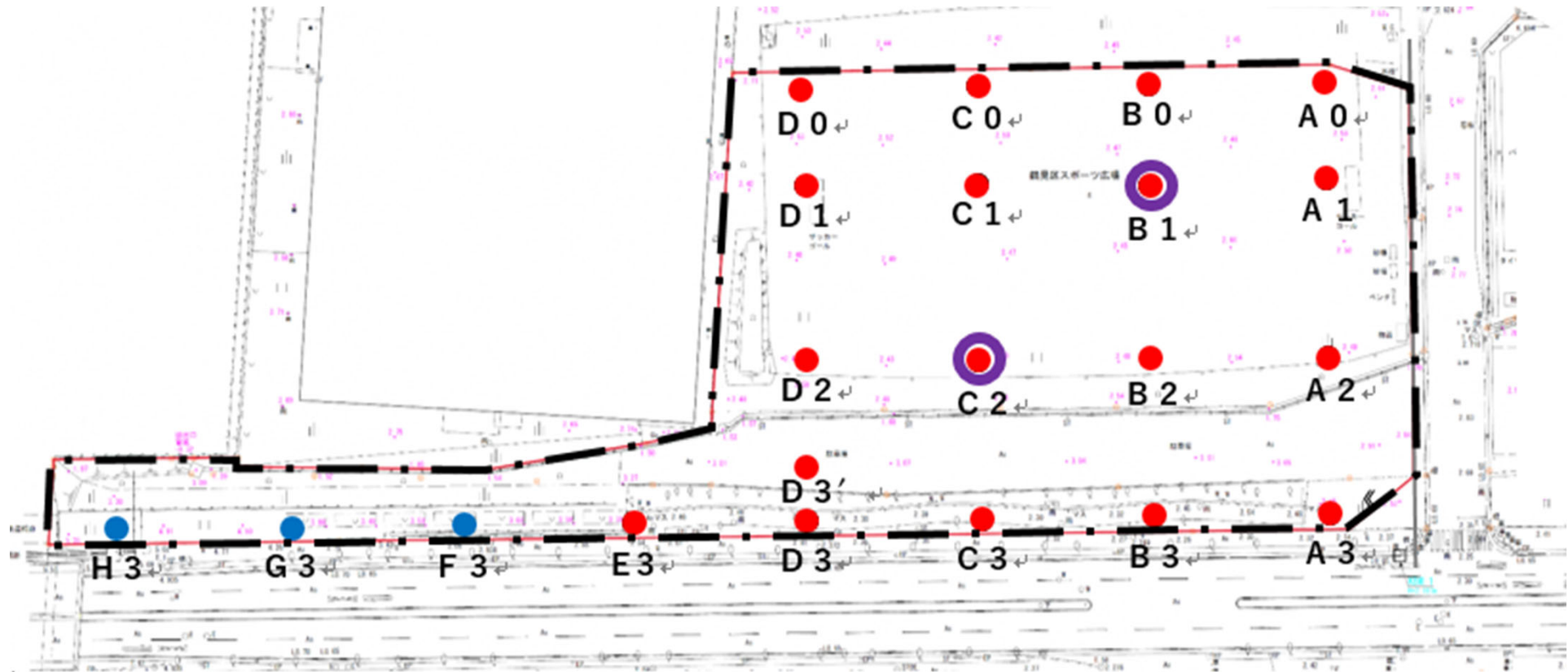
土壤溶出量基準：特定有害物質が溶け出した地下水を長期間(70年)飲用することによる健康リスクに関する基準

土壤含有量基準：特定有害物質を口や肌から長期間(70年)直接摂取することによる健康リスクに関する基準

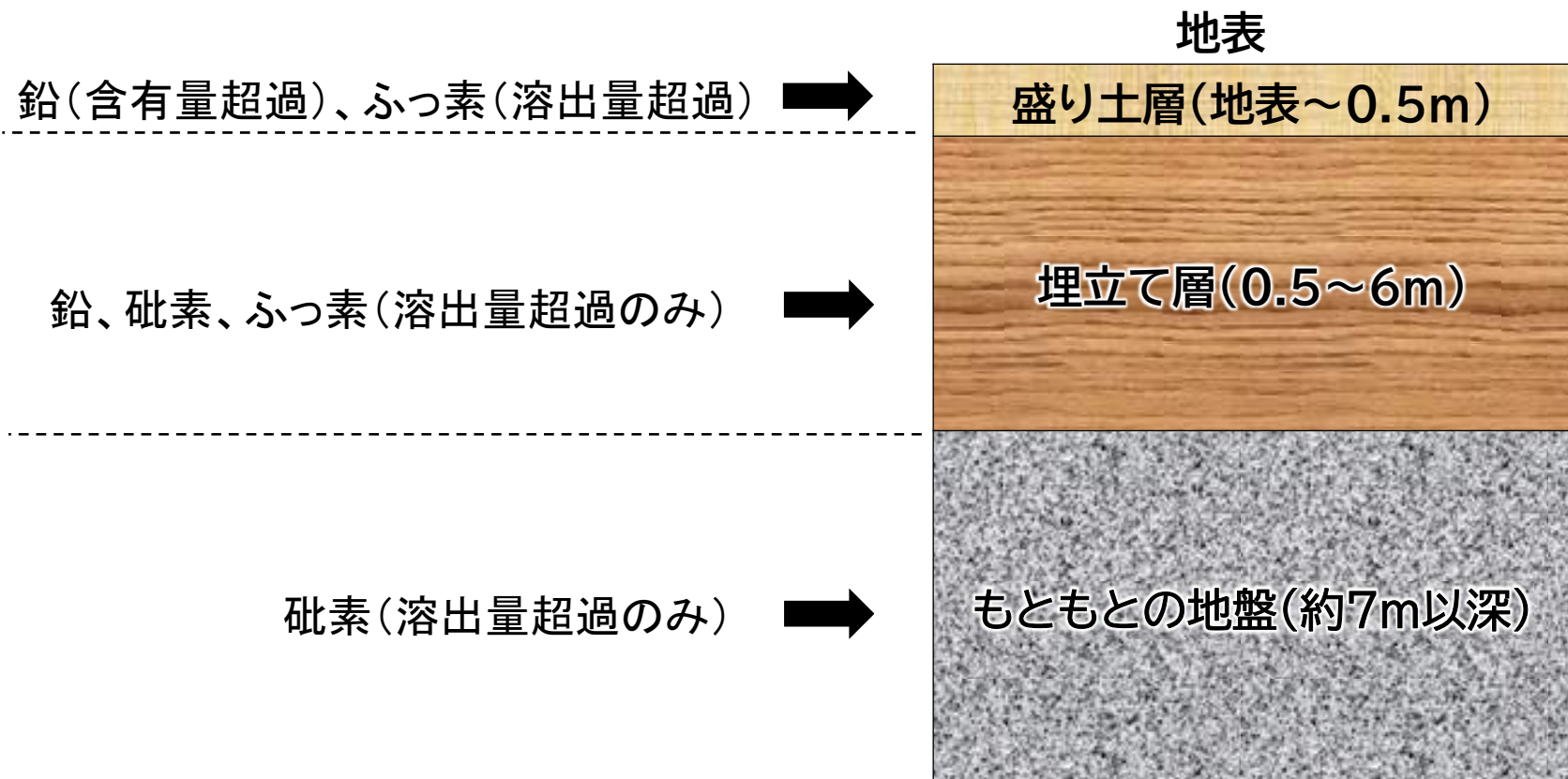


## Ⅱ-8 土壤汚染調査

- 調査した21地点128試料のうち、18地点の59の試料で「鉛」、「砒素」、「ふっ素」のいずれかの物質が土壤溶出量基準を超過し、そのうち2地点で鉛が土壤含有量基準を超過しました。



## Ⅱ-8 土壤汚染調査



- ・ 斎場整備用地の地層は、おおきく分けて「盛り土層」「埋立て層」「もともとの地盤」の3層でできています。
- ・ 今回、主に深さ6m程度までの埋立て層で3物質が溶出量基準を超過しましたが、含有量基準を超過した「鉛」は表面の盛り土層でのみ検出されました。

## Ⅱ－８ 土壌汚染調査

### (1) 現在の対応

- ・ 斎場整備用地周辺には飲用井戸が無く、地下水を飲用水として摂取するリスクはありません。
- ・ 斎場整備用地は現在土木工事中のため、一般の方の立ち入りはできず、工事にあたっては散水など土壌飛散防止対策を行っていますので、土砂が飛散することはありません。

### (2) 建物建設工事の対応

- ・ 建設工事に際しては、搬出する土砂の適正な処分等、所管部署と調整しながら進めていきます。

### (3) 斎場オープン後の対応

- ・ 土壌汚染が見つかった部分には斎場建物が建つため、土砂が飛散する恐れはありません。また、斎場で地下水を飲用に用いることはありません。

# 目次

- I 横浜市の現状
- II 建物の設計
- III 今後のスケジュール

## Ⅲ－1 供用開始時期の変更

斎場の供用開始時期について、これまで「令和7年度末」としてきましたが、現在行っている実施設計で精査した結果、「令和8年10月」となる見込みです。

### (1) 変更理由

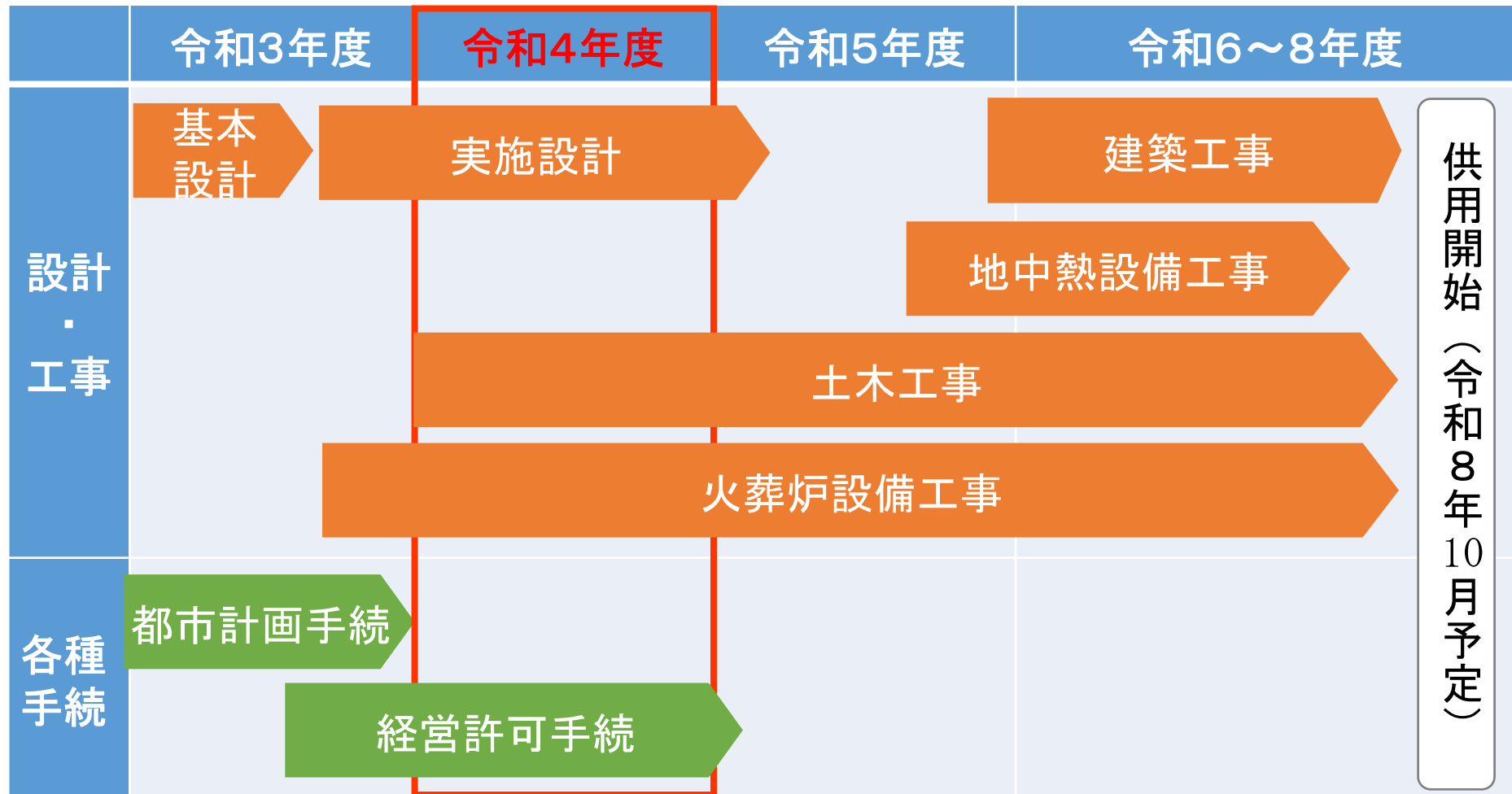
- ・ 建設工事の週休二日制への対応
- ・ 高い環境性能の実現に向けた地中熱設備の導入など、計画当初に無かった要素の追加

### (2) 工期短縮の主な取組

- ・ 地中熱設備工事を建物工事から分離し、先行して施工
- ・ 各種工事工程の徹底した見直し
- ・ 施設竣工から供用開始までの準備期間について、火葬炉の試運転や家具等の搬入・設置スケジュールを見直し、短縮

⇒ 工期短縮のため、様々な調整を行いましたが、当初計画から6か月程度の延期となります。

## Ⅲ-2 今後のスケジュール



※現時点での想定スケジュールです。事業の進捗状況により、変更になる場合があります。

# 内観イメージ

3階 待合ロビー



2階 エントランス



2階 車寄せ



1階 葬儀式場



※内観は基本設計時のイメージです

# ご清聴ありがとうございました

《問合せ先》

横浜市健康福祉局 環境施設課 斎場整備担当

TEL : 045-671-4386 FAX : 045-664-6753

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10